

## ★【クレアール】 5月22日実施 FP3級学科本試験 講評★

5月22日の試験を受けられた受験生の皆様お疲れ様でした。

試験はいかがでしたか。

今回の学科試験について、分野別の講評と難易度です。

説明の中で記載している記号の意味は以下の通りです。

○・・・難易度 やや易しい（正答率が高いと予想され得点したい問題）

△・・・難易度 普通

×・・・難易度 やや難しい（正答率が低いと予想される問題）

### ●ライフプランニングと資金計画

正誤問題	設問	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	正解	①	②	②	①	②
	難易度	○	○	○	○	△
択一問題	設問	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)
	正解	3	2	2	2	1
	難易度	△	○	○	○	○

正誤問題については、(2)健康保険の任意継続被保険者、(3)老齢厚生年金の繰下げ支給と老齢基礎年金の繰下げ支給の請求、(4)遺族基礎年金の受給者となる者など比較的解きやすい問題でした。

択一問題も解きやすい問題だったと思います。

(32)公的介護保険や(34)障害基礎年金、(35)住宅ローン（フラット 35）は定番分野ですので、テキストの基本事項を理解していれば正解できたのではないのでしょうか。

### ●リスク管理

正誤問題	設問	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	正解	②	②	①	②	①
	難易度	△	△	○	△	○
択一問題	設問	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)
	正解	1	3	1	3	1
	難易度	△	○	△	○	△

正誤問題については、(8)人身傷害補償保険の内容、(10)がん保険の免責期間は基本問題でした。(6)は払済保険と延長保険との違いをしっかりと覚えていたかがポイントです。

択一問題は(36)は3つの予定基礎率と保険料の関係が問われた問題でしたが、迷った受験生が比較的多かったようです。

(37)契約転換制度、(39)個人賠償責任保険の補償範囲については得点しておきたい問題です。

●金融資産運用

正誤問題	設問	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	正解	②	②	①	②	②
	難易度	△	○	○	○	○
択一問題	設問	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
	正解	3	2	3	2	1
	難易度	○	○	○	△	○

正誤問題については、(12)上場株式を購入する場合の決済日、(13)配当性向、(14)相関係数など基本的な出題が多かったです。

択一問題については、(44)最終利回りを算出する問題はよく出題されますが、計算問題は苦手とされる方が多く正答率が上がらない分野ですので、得点できると他の受験生と差をつけることができるのではないかと思います。

●タックスプランニング

正誤問題	設問	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
	正解	②	②	①	①	①
	難易度	△	○	○	○	○
択一問題	設問	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
	正解	1	2	3	3	1
	難易度	○	○	○	○	△

正誤問題については、(17)事業的規模で行われている不動産の貸付による所得の区分、(18)不動産所得において損益通算できないもの、(19)配偶者控除の適用要件は正解したいところです。

択一問題は(46)老齢基礎年金や老齢厚生年金の所得区分、(47)社会保険料控除、(49)年末調整により受けることができる所得控除など基本的な問題が多く解きやすかったと思います。

●不動産

正誤問題	設問	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
	正解	①	①	②	①	②
	難易度	○	△	○	○	○
択一問題	設問	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)
	正解	3	1	3	1	2
	難易度	○	○	○	○	△

正誤問題は(21)登記制度、(23)定期借家契約、(24)市街化調整区域など頻出分野からの出題で比較的得点しやすい問題だったのではないのでしょうか。

択一問題については、(51)相続税路線価、(52)建築基準法の接道義務、(54)居住用財産を譲渡した場合の軽減税率の特例はよく出る分野でぜひ得点したい問題です。

●相続・事業承継

正誤問題	設問	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
	正解	①	①	①	②	②
	難易度	△	△	△	△	○
択一問題	設問	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)
	正解	2	2	1	3	3
	難易度	○	○	○	○	△

正誤問題は他の分野に比べて簡単な問題は少なかったです。(30)貸付事業用宅地等の限度面積と減額割合についてはぜひ得点していただきたい問題でした。

択一問題は、(57)法定相続分の計算は基本的な内容でした。ぜひ得点したいです。(60)相続税額の2割加算の対象者は苦手意識のある方が多いようです。

●総評

今回の学科問題は全体を通して難易度が高い問題が少なかったように思います。各分野ともテキストの内容をしっかりと理解し、基本的な問題についてしっかりと正解を出すことができれば十分合格圏内に達します(難易度○の問題を8割、△の問題を5割正解できれば合格基準点に十分達します)。

まずは、FP講座で基本事項をしっかりと押さえたうえで、過去問題を繰り返し解くことでより確実に合格を手にすることができるのではないのでしょうか。

以上